

授業科目名・形態	看護過程論	演習	必修・選択の別	必修	
担当者氏名	黒澤繭子・小畑千春	開講期	2年前期・後期	単位数	2

【授業の主題】

看護過程は、様々な対象の、様々なニーズに対応し、その人らしく生活できるように支援するための目的や機能を持った看護を具体的に実践するための手段・方法論である。この授業では、効果的な看護活動を展開するための系統的な問題解決技法である看護過程を展開する方法を学ぶ。

【到達目標】

1. 看護過程を展開するための基礎的な知識とその方法、一連の流れを理解できる
2. 紙上事例を用いた看護過程を展開し、情報収集から看護計画の立案までを行うことができる
3. 看護記録の方法を理解できる
4. ケーススタディを行うためのケースレポートが作成できる

【授業計画・内容】 ※H28.4.4 現在の予定、第21回以降は再度修正の可能性あり

第1回	看護過程とは(1)	(黒沢、小畑)	第16回	計画立案(3)	(黒沢)
第2回	看護過程とは(2)	(黒沢)	第17回	実施・評価・修正	(黒沢)
第3回	看護過程の概要と構造(1)	(黒沢)	第18回	電子カルテシステムとクリティカルパス	看護記録とは (黒沢)
第4回	看護過程の概要と構造(2)	(黒沢)	第19回	計画立案(4)	事例演習 (黒沢)
第5回	看護過程の概要と構造(3)	(黒沢)	第20回	看護記録の概要	(小畑)
第6回	情報収集(アセスメント)	(黒沢)	第21回	ケーススタディを行うためのケースレポートの書き方	(黒沢)
第7回	ゴートソンの機能的健康パターン	(黒沢)	第22回	看護過程の評価	ケースレポート作成(1) (黒沢)
第8回	アセスメント 事例演習	(黒沢)	第23回	ケースレポート作成(2)	(黒沢)
第9回	看護診断・共同問題	(黒沢)	第24回	ケースレポート作成(3)	(黒沢)
第10回	情報の解釈・判断	(黒沢)	第25回	ケースレポート発表・検討会(1)準備	(黒沢)
第11回	看護診断 事例演習	(黒沢)	第26回	ケースレポート発表・検討会(2)準備	(黒沢)
第12回	全体像の把握・関連図	(黒沢)	第27回	看護記録(1)	(小畑)
第13回	関連図 事例演習	(黒沢)	第28回	看護記録(2)・看護必要度とは	(小畑)
第14回	計画立案(1)	(黒沢)	第29回	ケースレポート発表・検討会(3)発表	(黒沢、小畑)
第15回	計画立案(2)	(黒沢)	第30回	ケースレポート発表・検討会(4)発表	(黒沢、小畑)

【授業実施方法】 講義・演習

【授業準備】

授業内容に関連した教科書の章にあらかじめ目を通して授業にのぞんでください。また、授業で配布する資料や教科書で復習をし、理解を深めてください。

【主な関連する科目】

看護学概論、基礎看護技術論Ⅰ・Ⅱ、基礎看護技術演習Ⅰ・Ⅱ、成人看護学概論、老年看護学概論

【教科書等】

石川ふみよ編著：看護過程の解体新書 第1版、学研、2015

リンダ J.カルペニートモイ著、黒江ゆり子監訳：看護診断ハンドブック 第11版、医学書院、2018

高木永子監修：看護過程に沿った対症看護 病態生理と看護のポイント 第4版、学研、2014

【参考文献】

ロザリンダ・アルファローワイヴァ著、本郷久美子監訳：基本から学ぶ看護過程と看護診断 第7版、医学書院

井上智子、佐藤千史編：緊急度・重症度からみた症状別看護過程+病態関連図 第2版、医学書院

新見明子編：根拠がわかる疾患別看護過程 病態生理と実践がみえる関連図と事例展開 改訂第2版、南江堂

【成績評価方法】

定期試験 40%、ケースレポート 40%、課題提出 10%、授業態度 10%により総合的に評価する。

【学生へのメッセージ】

看護過程は看護実践を効果的に行っていくために必須となります。この授業で学んだことを基礎とし、ほぼすべての臨地実習でこの方法論を用いた看護展開を行っていきます。